株主優待制度のご案内

株主優待の内容が一部変更となりました。
対象となる株主様に「クランクイン！ビデオ」だけでなく、「クランクイン！コミック」のサービスにおいてもご利用可能な株主優待ポイントを贈呈します。

クランクイン！ビデオ　クランクイン！コミック

株主優待ポイントは、パソコンもしくはスマートフォン・タブレットで下記サイトよりお受け取りください。

QRコード

URL：https://video.crank-in.net/shareholder

対象となる株主様には、「株主優待のご案内」を同封しています。詳しくはそちらをご覧ください。

対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1,000株(10単元)以上保有している株主様を対象といたします。

贈呈時期

毎年1回、定時株主総会後に、「株主優待のご案内」をお送りいたします。

株主優待の内容

		継続保有期間	
		1年未満	1年以上※1
保有株式数	1,000株以上 5,000株未満	2,000ポイント	2,500ポイント
	5,000株以上	4,000ポイント	6,000ポイント

※1. 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載され、かつ前年の3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に連続して、同一株主番号で1,000株以上または、5,000株以上で記載された株主様といたします。
※2. 株主優待ポイントをご利用いただくためには、「クランクイン！ビデオ」または「クランクイン！コミック」の会員登録が必要となります。いずれかの会員登録によって、ビデオ・コミック両方のサービスをご利用いただくことができます。

コーポレートサイトのご案内

最新ニュースはもちろん、プレスリリース、投資家情報などを随時更新しています。また、個人・法人向けサービスやグループ会社サイトとリンクしていますので、必要な情報を素早く閲覧することができます。ぜひご活用ください。

http://www.broadmedia.co.jp/

ブロードメディア　検索

さらに便利に。スマートフォンでもご覧いただけます。

当社ウェブサイトはスマートフォン・タブレットにも対応しています。外出時にも当社情報の入手が可能です。

ブロードメディア株式会社
〒107-0052　東京都港区赤坂8-4-14 青山タワープレイス6F

2018 business report

株主通信
第22期 決算のご報告
2017.4.1 ➡ 2018.3.31

Broadmedia

ブロードメディア株式会社
証券コード:4347

CONTENTS

01　ブロードメディアグループの強み
02　トップインタビュー
07　トピックス
09　セグメント別の業績
11　連結財務諸表(要約)
13　会社データ
14　株式データ

01 ブロードメディアグループの強み

「コンテンツの調達能力」 × 「コンテンツを安定的かつ高品質で配信する技術」

コンテンツの調達と配信技術の2つを併せ持つ独自性が強み

5つの事業分野が緊密に連携を取り、相互に協力しあうことで、「創造力が生み出す優れた作品やサービスを広く社会に普及させ、より豊かなコミュニティーの形成・発展に貢献する」という企業理念を推進しています。

5つの事業分野

コンテンツ

HOLLYWOOD CHANNEL / BMGC

放　送

釣りビジョン

スタジオ

bms

技　術

Broadmedia / BMGC / BMTi / Digital Cinema Club

ネットワーク営業

Broadmedia

個人向けサービス・法人向けサービス

さまざまなコンテンツを、独自性のある技術との組み合わせで、世の中のさまざまな端末に配信

02 トップインタビュー

グループのガバナンス体制を早期に整え、信頼の回復と収益力の向上に努めてまいります。

代表取締役社長 **橋本 太郎**

釣りビジョンの架空取引被害の件のご報告

まずはじめに、2017年度の決算の確定および株主総会の開催が例年に比べて遅れ、株主の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。その理由であります株式会社釣りビジョンの架空取引被害の件について、ご報告をさせていただきます。

当社の子会社である釣りビジョンが、2007年から10年間にわたって行われた業務委託先による詐欺によって、架空取引の被害を受けました。10年間で発生した損失は、約5億4千万円におよびます。本件の発覚後から約6カ月間、社内外の調査委員会を設置して調査をした結果、当社内部に本件に加担した者が存在する事実は確認されませんでしたが、釣りビジョンの執行担当取締役に善管注意義務違反があったことが指摘されました。また、

❶ 取引先との関係性構築を徹底
❷ 与信管理の徹底
❸ 内部統制の重要性に係る教育の徹底
❹ 釣りビジョン社の組織体制の見直し
❺ 稟議プロセス等への当社の関与
❻ 重要会議等での報告事項の見直し
❼ 規程・マニュアルの整備
❽ 管理部門の連携強化
❾ 内部監査の強化
❿ コンプライアンス教育の徹底

同様の被害の再発防止にとどまらず
グループガバナンス・コンプライアンス体制の強化に努めてまいります

詐欺被害の防止に至らなかった事情として、業務委託先の手口の巧妙さに加え、当社の内部統制体制に甘さがあったことを指摘されました。慚愧の念に堪えません。こうした調査結果や提言を受け、当社グループは上記10項目の対策を徹底することで、同様の被害の再発防止にとどまらず、グループガバナンスとコンプライアンス体制の強化に一丸となって努めてまいります。

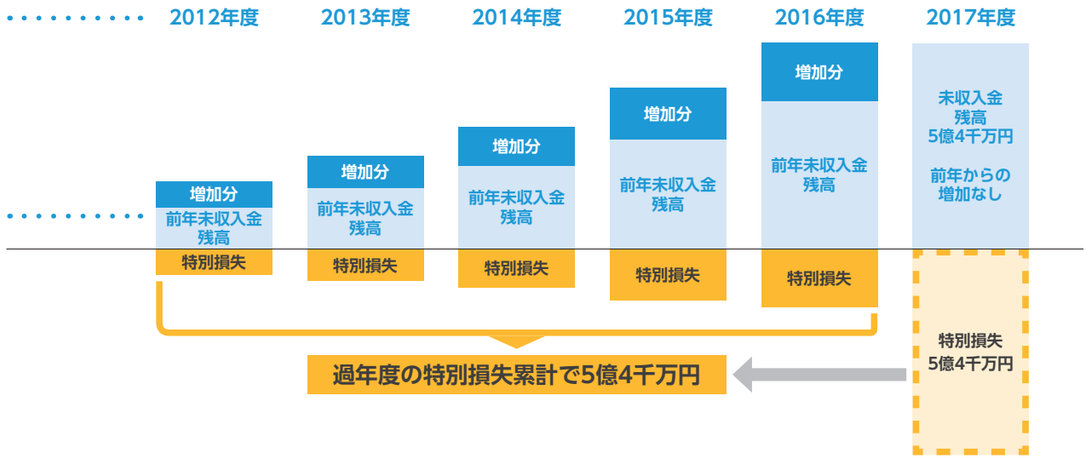
また、損害についての対応ですが、直接的な損害額としての約5億4千万円と、調査関連費用・弁護士費用等の付随的に発生した費用は、損害賠償請求等による回収に努めます。架空取引により発生した消費税や法人所得税に関しては、更正手続きによる回収に努力してまいります。本件の業務委託先に対しては、詐欺事件として刑事告訴を予定しており、既に警察に相談を開始しています。

今後は、現在進めている組織体制の改編とともに、事業の立て直しを図ってまいります。現在、釣りビジョンはコンテンツ配信事業の拡大を準備しています。釣りビジョンは質量ともに圧倒的な釣り情報を有していますが、これまでは番組に用いる以外に、その情報を十分には活用してきませんでした。また、既存のモバイル向け情報配信は、五月雨式に対応してきた結果、分かりにくくなっていますので、これを統一して釣りビジョンポータルを実現してまいります。放送だけでは、釣り業界最大のメディアとして、時代のニーズに応えられません。これらの番組を制作する過程で蓄積した情報を、タイムリーにインターネットで配信し、放送に加えて2本目の柱として事業を伸ばしてまいります。

2017年度の経営概況について

第3四半期報告書は2度の提出期限延長を行い、有価証券報告書も提出期限延長を行いましたが、漸く過年度の決算を含めた全ての訂正および会計監査が終了し、2018年7月20日に2017年度の決算が確定いたしました。結果として、通期の業績は売上高108億円、営業利益88百万円、経常利益81百万円、純利益は46百万円となりました。5月30日に決算短信を発表した時点では、架空取引に伴う損失を2017年度の特別損失として一括計上する処理をしておりましたが、その後の監査法人との協議の結果、過年度の未収入金については各年度で貸倒引当金として特別損失に計上する変更をした結果、今期の通期業績は最終黒字となりました。

過年度の未収入金は各年度で特別損失に計上することにいたしました。



トップインタビュー

2017年度 連結経営成績

(単位：百万円)	2016年度	2017年度	増減額
売上高	10,413	10,800	↗ 387
営業利益	41	88	↗ 47
経常損益	△11	81	↗ 93
純損益	△453	46	↗ 500

各事業の進捗と展望について

まずクラウドゲーム事業ですが、引き続き技術プラットフォームの提供を通じて提携関係の強化を進め、収益の拡大を目指します。現在進めている次世代ケーブルテレビポータルの開発は、既に複数のケーブルテレビ局で実証実験を済ませ、準備を進めています。VR・4K・5Gについても、既に商用化したVR向けの技術提供を拡大してまいります。また、昨年はNTTドコモ様や凸版印刷様とGクラスタの配信技術を用いた5Gの実証実験を行いましたが、引き続き新たなサービスの構築に向けて開発を継続しています。個々のゲーム開発については、投資先のポケット社などとの提携により、Nintendo Switch™向けのゲーム開発を推進しています。

次にクランクイン！ですが、2018年3月にスマホ・タブレット端末向けの電子コミックサービス「クランクイン！コミック」の提供を開始しました。既存の「クランクイン！ビデオ」と連動して、共通のポイントでコミックだけではなく映画やドラマもお楽しみいただくことができます。株主優待ポイントの利用対象にもなりますので、ぜひお使いいただければと思います。当事業はニュース・映画・コミックを融合させた、総合的なエンターテインメントサービスの提供を目指してまいります。

教育事業では、「eスポーツ」「YouTuber育成」「スタディサプリ進学」「英語特化」という4つの新しい通学コースを開講しました。また提携先とのパートナーシップにより、サッカー部の開設やマレーシアのHELP University への留学制度など、生徒一人一人のライフスタイルに合った「学び」を提供できる選択肢を増やし、生徒たちの夢の実現を応援してまいります。教育事業は引き続きコンテンツセグメントの黒字拡大を牽引してくれると期待しています。今後は学校教育にとどまらず、日本語センターや教育教材開発などの新規事業も推進していく予定です。

最後に技術サービスですが、2017年10月に「ブロードメディア® CDN CMオンライン」サービスの提供を開始しました。これはテレビ局へのCM素材の搬入を、従来の物理メディアに代わってインターネット経由で配信するもので、今後大きく伸びていくことを期待しています。また、当社はアカマイ社のCDNを中心に新たなソリューションやサービスの提供を行ってきましたが、最近ではアリアカ社のグローバルな拠点間での大容量データ通信サービスの提供もはじめました。既存のサービスに加えて、新たな独自性の高い付加価値サービスを拡大することにより、グループ全体の収益を押し上げる部門に育ててまいります。

株主の皆様へのメッセージ

2018年度の連結業績予想は、各セグメントにおいて増収増益、全体的には上向きの予想をしておりますが、上期に釣りビジョンの架空取引被害に係る対応費用として、概算で約1億5千万円を織り込んでおります。その結果、売上高は増加しますが、営業利益と経常利益は減少し、当期純損失を計上する見込みです。税金の更正手続きや損害賠償請求等を進めてまいりますが、これらの回収額は見積もりが困難であるため、現時点ではプラスの影響額は織り込んでおりません。

グループのガバナンス体制を早期に整え、各事業の収益力を上げて株主還元ができるように鋭意努力を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年度 連結業績予想について

(単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 通期業績予想
売上高	10,800	11,700
営業利益	88	50
経常利益	81	40
純損益	46	△80

最新刊から映画化・アニメ化された原作まで、15万冊超のラインアップ「クランクイン！コミック」の提供を開始

「クランクイン！コミック」は、スマートフォン、タブレットのみに対応しています。

購入した作品は、ビューアアプリ（無料）でお読みいただけます。
試し読みなどはブラウザでお読みいただけます。

ビューアアプリダウンロード

App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

「コミック好きによる、コミック好きのためのサイト」をモットーに、スマートフォン・タブレット端末向けの電子コミックサービス「クランクイン！コミック」の提供を、2018年３月に開始

「クランクイン！コミック」は、最新刊から映画化・アニメ化された話題の原作まで、1冊からお楽しみいただけるスマートフォン・タブレット端末向けの電子コミックサービスです。15万冊※を超える豊富なラインアップに加え、無料・試し読み作品も常時1,000話以上と充実しています。ご購入いただいたコミックは、無料ビューアアプリ（iOS、Android™）から何度でもお楽しみいただけます。

「クランクイン！ビデオ」と連動し、〈原作コミック〉と〈映画作品〉をセットで楽しめる

動画配信サービス「クランクイン！ビデオ」と連動し、共通ポイントでコミックだけではなく新作映画・ドラマ・アニメなど約10,000作品をご視聴いただくことも可能です。ご覧いただいているコミックの実写版やアニメ作品の動画を自動でレコメンドする機能があるほか、〈原作コミック〉と〈映画作品〉のセット割引商品をお楽しみいただけるユニークなキャンペーンも、随時展開してまいります。

今後は、さらなる「クランクイン！コミック」のサービス向上を目指し、コミック、映画、エンタメニュースを融合させた当社ならではのユニークな連動企画で、エンタメコンテンツの新しい楽しみ方を提供できるよう挑戦してまいります。

※2018年3月1日時点

ルネサンス・アカデミーの取り組み

▶ 4つの新通学コースを開講

©一般社団法人日本ｅスポーツ連合

多様化する社会で活躍できる人材を輩出するため、日本初※1の高等学校による「eスポーツコース」、「YouTuber育成コース」をはじめ、一流講師陣による授業で定評のある「スタディサプリ※2」を活用した進学コース、「スタディサプリENGLISH※2」を活用した英語特化コースを順次開講します。

同時に、通学コースのオプションとして、Microsoft 社の「Minecraft（マインクラフト）」や「micro:bit（マイクロビット）」を教材とした、親しみやすい先端のプログラミング授業の導入や一昨年パートナーシップ契約を締結したマレーシアの「HELP University」への海外留学プランを提供します。

eスポーツコース　YouTuber育成コース　スタディサプリ進学コース　英語特化コース

※1 2018年3月22日時点、ルネサンス・アカデミー社調べ
※2 株式会社リクルートマーケティングパートナーズが提供しているオンライン学習サービスの名称

▶ 株式会社ジンジブとのサービス提携

高校生のための就職求人サイト「JOBドラフト」を運営する株式会社ジンジブと、就職支援とキャリア教育に向けたサービス提携を開始しました。

専門家による就職の教育プログラムを通じて、企業情報提供や就職活動サポートを行い、将来の選択肢を増やすことを目指します。

▶「FC大阪」をトップパートナーとして応援

プロサッカークラブ「FC大阪」を応援するスポンサー契約を、「FC大阪」を運営する株式会社アールダッシュと締結しました。

今回の契約を機にルネサンス大阪高等学校にサッカー部を立ち上げ、「FC大阪」から技術指導を受け、チーム作りを行っていきます。

※記載されている会社名及び商品名／サービス名は、各社の商標または商標登録です。

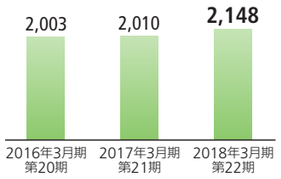
セグメント別の業績

コンテンツ

売上高
2,148百万円
（前期比6.9%増）

営業利益
14百万円
（前期は△220百万円）

売上高の推移　（単位：百万円）



事業・サービス内容
クラウドゲームサービス／
デジタルメディアサービス／
教育サービス

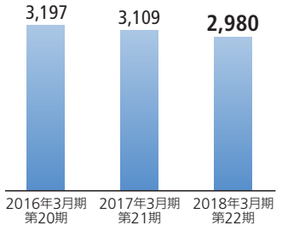
教育サービスは、入学生徒数の増加に加え、大阪校における生徒単価が上がったことで、増収増益となりました。デジタルメディアサービスは、売上が伸び、営業損失が縮小しました。また、クラウドゲーム事業の売上は前期と同水準となりましたが、コストの抑制等により営業損失は縮小しました。これらの結果、売上は増加し、黒字化しました。

放　送

売上高
2,980百万円
（前期比4.2%減）

営業利益
90百万円
（前期は166百万円）

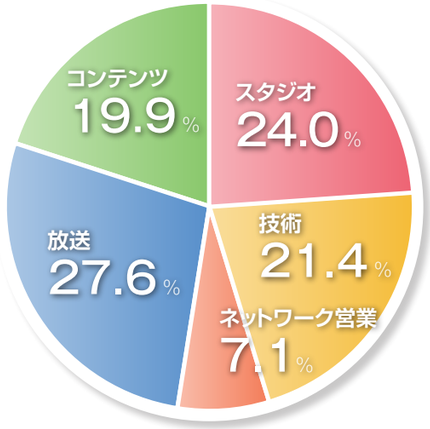
売上高の推移　（単位：百万円）



事業・サービス内容
釣り専門チャンネル「釣りビジョン」

視聴料収入が減少傾向にあることが影響し、減収減益となりました。

売上高合計
10,800百万円

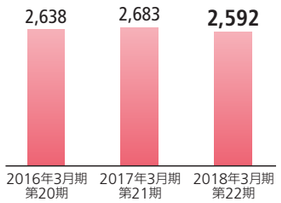


スタジオ

売上高
2,592百万円
（前期比3.4%減）

営業利益
47百万円
（前期は173百万円）

売上高の推移　（単位：百万円）



事業・サービス内容
制作事業／番組販売事業／映画配給事業

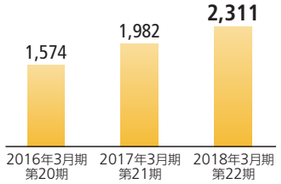
番組販売事業はテレビ向け番組販売が増加し、増収増益となりました。一方、制作事業の受注が減少したことや映画配給事業のビデオ販売等が減少したことが影響し、減収減益となりました。

技　術

売上高
2,311百万円
（前期比16.6%増）

営業利益
384百万円
（前期は341百万円）

売上高の推移　（単位：百万円）



事業・サービス内容
CDNサービス／デジタルシネマサービス／
ホスピタリティ・ネットワーク

CDNサービスにて取り扱う、ソリューションやサービスの拡大が、売上高の増加に貢献しました。また、前期において固定資産を減損処理したことから売上原価が減少し、増収増益となりました。

ネットワーク営業

売上高
767百万円
（前期比22.4%増）

営業利益
4百万円
（前期は10百万円）

売上高の推移　（単位：百万円）

事業・サービス内容
ブロードバンド回線販売／
ISPサービス販売／
携帯電話サービスの取り扱い

「SoftBank Air」の販売が伸びていること等により売上高は増加しましたが、傘下代理店へ支払うインセンティブが上昇傾向にあること等が影響し、増収減益となりました。

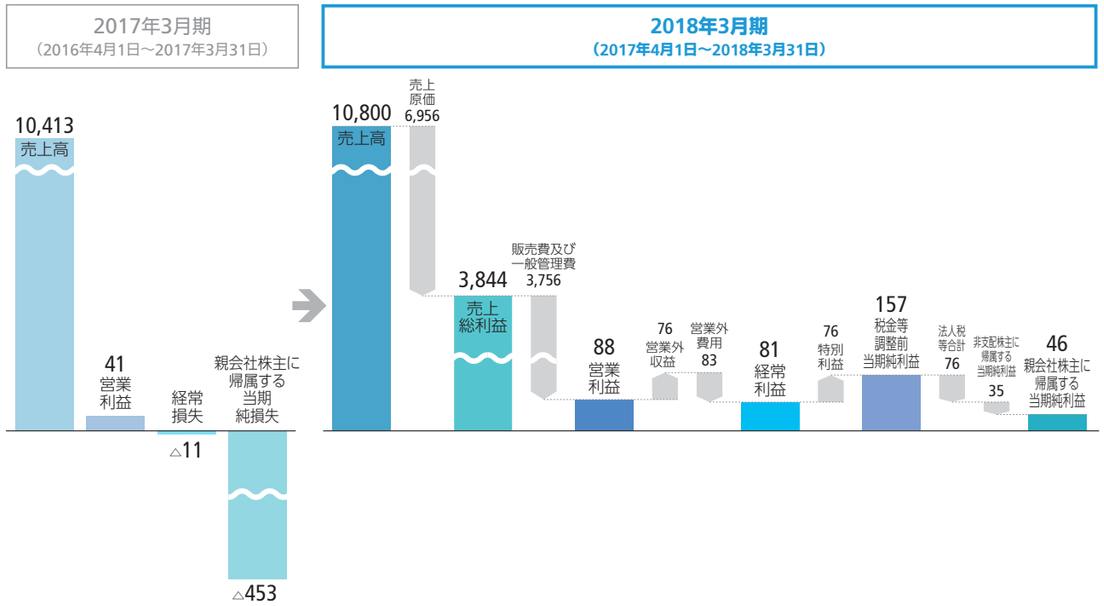
※過年度の数値は訂正後の数値

連結財務諸表(要約)

※過年度の数値は訂正後の数値

連結損益計算書

(単位:百万円)



IRサイト「投資家情報」のご案内

～決算説明会動画も配信中～

直近の決算情報や株式情報、株主優待などのほか、最新の決算説明会の動画も掲載しています。

【掲載資料】
決算短信、有価証券報告書、株主通信、株主総会のご案内、電子公告など

http://www.broadmedia.co.jp/ir/

売上高

「放送」「スタジオ」は減収となりましたが、他の3つのセグメントが増収となりました。

営業利益／経常利益

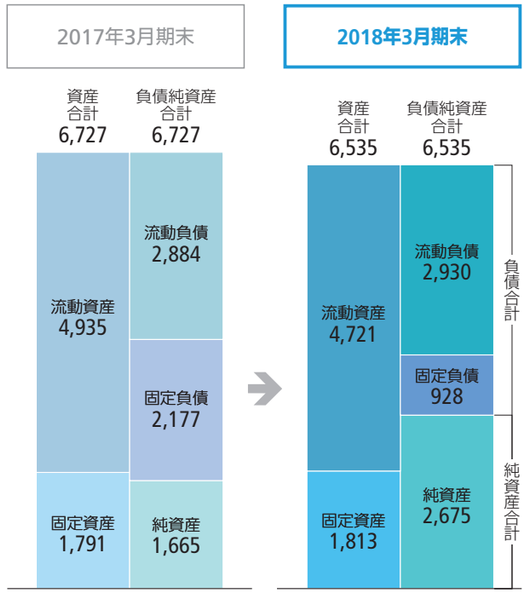
営業利益は「コンテンツ」が黒字化したことや「技術」が好調に推移したこと等により、増益となりました。また、為替差益や持分法による投資利益の計上が主な要因となり、経常利益も黒字となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益の計上に加え、ルネサンス・アカデミー(株)やデジタルシネマ倶楽部(株)の完全子会社化により、非支配株主に帰属する当期純利益が減少し、連結納税の対象となったことから税金費用が減少しました。これらの結果、純利益となりました。

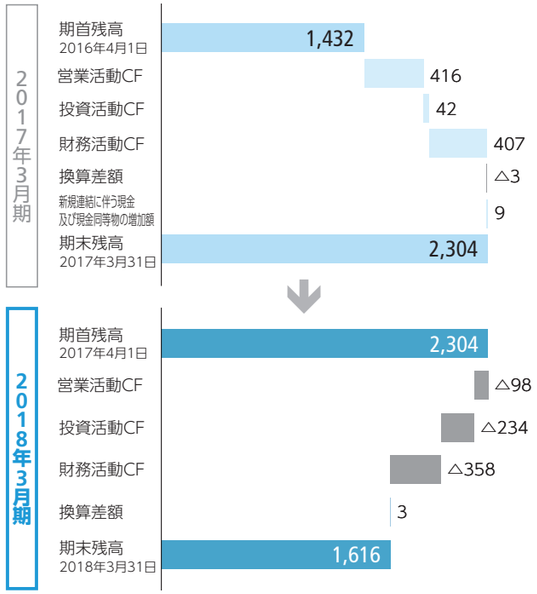
連結貸借対照表

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



資産合計

テレビ向け番組販売の仕入や、グループの拠点集約にかかる固定資産、差入保証金が増加した一方、現金及び預金が減少しました。

負債合計

買掛金が増加しましたが、制度廃止による役員退職慰労引当金の減少やリース債務の減少に加え、新株予約権の行使により新株予約権付社債が減少しました。

純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益の計上や、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が増加しました。これにより、自己資本比率は33.5%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益を計上しましたが、売上債権やテレビ向け番組等のたな卸資産が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得や、グループ会社の拠点を集約することに伴い敷金の差入による支出がありました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済やデジタルシネマ倶楽部(株)の完全子会社化に伴う株式の追加取得等を行いました。

会社データ

（2018年3月31日現在）

会社情報

社名	ブロードメディア株式会社
英文社名	Broadmedia Corporation
設立	1996年9月5日
資本金	3,457,496千円
従業員	42名（連結405名）
URL	http://www.broadmedia.co.jp/

取締役および監査役

（2018年8月10日現在）

代表取締役社長	橋本　太郎	常勤監査役	古屋　俊一
取締役	久保　利人	監査役	北谷　賢司
取締役	嶋村　安高	監査役	佐藤　淳子
取締役	押尾　英明	監査役	山田　純
取締役（非常勤）	桃井　隆良		
取締役（社外）	関　伸彦		

※ 関伸彦は、社外取締役であります。
※ 古屋俊一、北谷賢司、佐藤淳子および山田純は、社外監査役であります。

グループ会社

株式会社釣りビジョン
https://www.fishing-v.jp/

釣り専門チャンネル「釣りビジョン」の制作並びにBS放送、およびスカパー！プレミアムサービス・ケーブルテレビ局等に向けて番組供給事業をしております。

設立：1998年３月　所在地：東京都新宿区

ルネサンス・アカデミー株式会社
https://www.renaissance-academy.co.jp/

スマホ・タブレット、PCを活用してインターネットで学習する通信制高校「ルネサンス高等学校グループ」3校を運営。開校から12年の間に、在籍した生徒数は1万3千人超。ネット高校のイノベーターとして、さらなる発展を目指し、教育内容を進化させていきます。

設立：2005年10月　所在地：東京都港区

ハリウッドチャンネル株式会社
http://www.hollywood-ch.com/

新作洋画・新作邦画・ドラマを中心とした映像をTV・PC・スマホ・タブレット向けに配信しております。また、電子コミック配信、映画・ドラマを中心としたエンタメニュース配信、広告宣伝業務、公式サイト制作受託を行っております。

設立：2003年４月　所在地：東京都港区

デジタルシネマ倶楽部株式会社
http://www.dcinema.jp/

映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPFサービスを提供しております。

設立：2010年４月　所在地：東京都港区

ブロードメディア・スタジオ株式会社
http://www.bmstd.com/

外国映画・海外ドラマのテレビ放映権の販売、日本語版（字幕・吹替）の制作、および外国映画の劇場配給・映画宣伝、DVDビデオの発売・プロモーション等をしております。

設立：2000年８月　所在地：東京都中央区

ブロードメディアGC株式会社
http://www.broadmediagc.co.jp/

クラウドゲームに適した技術システム、コンテンツ、プラットフォームを提供しております。

設立：2004年９月　所在地：東京都港区

ブロードメディア・テクノロジーズ株式会社
http://www.bmtech.co.jp/

2017年6月に、グループ会社のCDNソリューションズ株式会社（CDNS）とルーネット・システムズ株式会社は、CDNSを存続会社として吸収合併し、商号変更いたしました。CDNサービス、セキュリティーサービス、ホテル向けインターネットサービスの提供のほか、新しいITサービスの提供を目指してまいります。

設立：2001年4月　所在地：東京都港区

株式データ

（2018年3月31日現在）

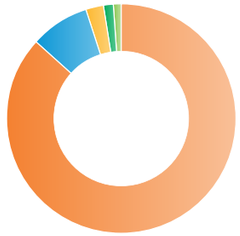
株式の状況

発行可能株式総数	128,000,000株
発行済株式の総数	79,147,323株
株主数	16,164名

※発行済株式の総数には、自己株式（1,157,427株）を含んでおります。

所有者別株式分布

	持株数（千株）	出資比率（%）
個人その他	68,643	86.73
証券会社	6,650	8.40
外国人	1,898	2.40
その他国内法人	1,018	1.29
金融機関	936	1.18



※所有者別株式分布の「個人その他」には、自己株式を含んでおります。

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告方法	電子公告 （当社ホームページに掲載） http://www.broadmedia.co.jp/ ただしやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く9：00～17：00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店（※） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払い明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。